

責任ある素材生産事業体認証制度
審査結果報告書

有限会社 ○○林業

○○○○年○○月

目 次

1. 事業体の概要	頁
2. 審査経過	頁
3. 審査結果	頁
4. 総評	頁

1. 事業体の概要

<資料>

事業体名			
代表者氏名			
創業年		法人設立年	
認定林業事業体の認定取得年			

○事業部門別売上構成（過去1年間）

	素材生産	造林			計
売上高	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円

○素材生産量（申請日から過去1年間）

	国有林	公有林	私有林		計
主 伐	m ³	m ³	m ³		m ³
うち直営	m ³	m ³	m ³	ア	m ³
間 伐	m ³	m ³	m ³		m ³
うち直営	m ³	m ³	m ³	イ	m ³
				ウ=ア+イ	m ³

○役員・従業員数

	素材生産専従	素材生産 &造林専従	管理・事務 ・他部門等	計
役員	人	人	人	人
従業員	人	人	人	人

2. 審査経過

(1) 認証委員会からの審査員委嘱

委嘱日	年 月 日
審査員（主査）	□□□□（■▲●木材）
審査員（副査）	◇◇◇◇（●▲■林産）

(2) 申請書類及びヒアリングによる審査

実施日	年 月 日
場所	
事業体対応者	社長 ○○○○、 事業部長 △△△△
同席者	☆☆☆☆

(3) 現地審査

実施日	年 月 日 ・ 月 日
現場1	
現場2	
現場3	
事業体対応者	社長 ○○○○、 事業部長 △△△△
同席者	☆☆☆☆

3. 審査結果

※S=特別に良い、A=良い、B=改善の余地があるが、認証には十分である、C=改善が必要であり、認証には不十分である。Cが一つもないことを認証の目安とする。得点はS=3、A=2、B=1に加重をかけて集計する。

A. 伐採契約・準備		評価	加重
A-1	伐採更新計画を作成し、作業内容について所有者の同意を得ている。	S A B C	× 1
A-2	私有林の主伐においては、所有者に再生林の実施を適切に働きかけている。	S A B C	× 2
A-3	伐採に必要な許可を得るなど、法令を遵守している。	S A B C	× 2
コメント			
		得点	
			／ 15

B. 路網・土場開設		評価	加重
B-1	路網・土場の配置は林地保全上適切で無駄がない。	S A B C	× 2
B-2	路網・土場の配置はそこから直接土砂が谷川へ流れ込まないよう配慮されている。	S A B C	× 2
B-3	路網・土場は早期に安定し、土砂流出・崩壊が継続して生じないよう施工されている。	S A B C	× 2
B-4	路面からの排水を適切に誘導するための措置が講じられている。	S A B C	× 1
B-5	谷川横断施設は大雨に耐えるだけの設計、施工がなされている。	S A B C	× 1
コメント			
		得点	
			／ 24

C. 伐採・造材・集運材		評価	加重
C-1	林地保全、生物多様性保全のため、必要な保残帯設置、伐区分散が図られている。	S A B C	× 1
C-2	作業が地域住民の生活の妨げとならないよう、必要な措置が講じられている。	S A B C	× 1
コメント			
			得点
			/ 6

D. 更新・後始末		評価	加重
D-1	次世代林の更新に配慮した跡地整理を行っている。	S A B C	× 1
D-2	枝条残材は、崩壊を誘発したり、谷川に流れ出ていかないように置かれている。	S A B C	× 2
D-3	集運材に使用した路網の補修、原状回復が行われている。	S A B C	× 2
D-4	廃棄物を現場に残していない。	S A B C	× 1
D-5	作業の完了について、所有者の確認を得ている。	S A B C	× 1
コメント			
			得点
			/ 21

E. 健全な事業活動		評価	加重
E-1	労働安全のための活動が十分に行われ、効果を上げている。	S A B C	× 1
E-2	技術向上・事業改善に怠らず取り組んでいる。	S A B C	× 1
コメント			
		得点	
		/ 6	

総合得点
/ 72

その他に特記すべき事項

4. 総評